

レベル4のワークを提出する際に念頭に置くべき主なポイント

- ①すべてのワークがリングバインダーやレバー式ファイルなどで綴じられていること。
- ②表紙に色のついた絵やデザインが施されていること。
- ③表紙の次の本扉に名前、連絡先、IDナンバー、日付を必ず入れること。名前のついていないワークが送られてくることもあるので気をつけてください。
- ④解剖学あるいはカウンセリングスキルの修了書のコピーをワークの最後に添付すること。すべてを一緒に綴じておくと便利です。
パート1
パート2
カウンセリングスキルあるいは解剖学の修了書
60件のコンサルテーションの記録
アカデミーで受講したコース（特にレベル1、2、3以外のコース）のリスト。
コース名と日付を記入。
- ⑤可能であれば、少なくともワークのパート1とパート2はワープロで打ってください。これはワークを読む査定者とシステムへの敬意を示し、ワークを読んでもらうためにあなたが十分配慮していることを表します。
- ⑥パート1において、各質問は最低限1ページの長さを必要とします。質問自体を標題あるいはタイトルとして打ち、答えがそれに続くようにします。新しいコンサルテーション記録シートが入手可能となった時点で、60件のコンサルテーションの記録として、新しいシートのクライアントのコピーの両面を提出してください。コンサルテーションの記録のボトルはすべて色を塗ってください。
コンサルテーションの記録をワープロで打ってほしいと査定者から依頼されたことがあります。それは難しいことだろうと私たちは理解していますが、査定者はあなたの記述が読めなくてはなりません。あなた方がシートの両面にある以上に多くのスペースを必要とする場合は、追加情報を別紙として加えてください。
また、レベル4の提出に記録シートをコピーする場合、クライアントの名前と連絡先は空白にしてください。ただし必要な場合に私たちがそれを参照することができるように、自分のための整理番号のような識別マークは付けてください。
- ⑦各コンサルテーションに、ボトルの三原色と基本的な数秘学の内訳を忘れずに記入してください。新しいシートにはこのためのスペースがあります。
- ⑧ゴールデンスレッドやチャクラ・レイアウトのようなより多くの詳細を加えたいと思った場合、もしスペースが足りなければ、追加ページを付けていただくとよいでしょう。
- ⑨パート2全体の英文で5,000語以上（日本語で約15,000文字以上）の研究レポートは、研究であるべきであり、自分自身の成

長の記録の延長線上にあるものではありません。確信が持てない場合は、あなたのトピックやテーマをティーチャーと話し合ってください。

- ⑩より多くの図や色のついたスケッチを解答に添えていただくとよいでしょう。過去においては、あまりにも図が多すぎて文書によるワークが十分でないという問題がありました。図の有る無しに関わらず、パート1およびパート2に必要な文字数は英文で5,000語（日本語で約15,000文字）です。図は適切なものであるべきで、テキストに明確さを与えるものでなくてはなりません。図は内容についての理解を助け、理解を増すためのものである必要があり、そうでなければ省略するべきです。図を使ったとしても、5,000語の記述は必要です。パート2の5,000語以上のエッセイに付ける図は、生徒が研究しているワークを描写する助けになるでしょう（ある生徒は論文のパート2に添えるDVDを送ってきましたが、それは非常に興味深いものでした）。
- ⑪必要なワークがすべて査定者に届くまで、ワークは査定されません。すべてのワークが完了してから完成フォームをアカデミーに送ってください。
- ⑫質問6aはニュートンやマックス・プランクの量子論などの色の科学的側面についての問いであり、6bはゲータやシュタイナーなどに関する、科学のより経験的な異なったアプローチです。質問にあるようにそれは哲学に近づきます。
- ⑬内分泌腺についての質問は、現在のパート1の必要事項から削除されました。しかしながら、これは内分泌腺が私たちの身体の一部であるという理解からすべてを学ぶことができるという知る、大変興味深い主題です。それぞれの内分泌腺が何をし、何を生み出し、それに関係するチャクラは何であり、そしてそれらすべてがどのように私たちの恒常性を調整し維持しているかを本当に理解している人はどのくらいいるのでしょうか。この情報は比較的容易に見つけることができます。
- ⑭オーラ・ソーマの4つの主要な柱（イクイリブリアム・ボトル、ポマングー、クイントエッセンス、カラーエッセンス）がオーラの領域でどのように作用するかを必ず理解しておいてください。
- ⑮本文に色を付ける場合、イエローは使用しないでください。何が書かれているのかを読むのが非常に困難だからです。PNL（本誌）の今号のサブタイトルはゴールドで書かれています。
- ⑯本文に参照したすべての文献と著者を一覧にした参考文献一覧を付けてください。そして研究目的に使用したできるだけ多くの本や雑誌、記事を記入し、これらの出典から活用した情報をきちんと確認してください。